

捨てる前に考えましょう

# ペットボトルキャップ

# リサイクル



今は日常生活で必需品の一つになっているペットボトル。このキャップは回収運動で集められたあと、どのようにリサイクルされているのかなと思い、その回収から製品化されるまでを追跡してみることにしました。



リポーター 鳥潟 節子さん(東台4区)

## キャップもリサイクル？

私たちの周りには欲しいものが抱負にそり、便利さを感じていましたが、そんな生活環境となった今の社会では「使い捨て」が当たり前。ごみは増え続ける一方です。

市が平成18年5月にペットボトル本体のリサイクルを始

めたころは、私はプラスチック製のキャップは外し、燃やせるごみに出していましたが、ある時、近所のかたが孫が学校で(キャップを)集めてリサイクルしてると言うから、捨てないで集めてるの、と言うので、私もいっぱいためて持つていってもらったことがあります。地区の老人クラブでも、一時資源回収運動に取り組んだことがありましたが、長続きしませんでした。

今までは集めることに一生懸命でしたが、学校に回収されたあととはどのようにリサイクルされるのか。追跡調査して、作業に携わる方々にもお話を聞いてみたいと思います。

## 小・中学校で回収運動

回収は、平成19年5月から市内の全小・中学校(計30校)で行われ、児童・生徒の家庭から排出されるキャップが集められています。これは、学校を拠点にキャップを回収することで、子供たちの環境保全意識を高めることが狙いでもあるそうです。そこで、私の住む地区にある城南小学校を訪ねてみることにしました。